



CORPORATE REPORT 2017

2017年12月期
第3四半期決算報告

2017年1月1日



2017年9月30日

GMOINTERNET

証券コード：9449

インターネット 総合グループが持つ 技術力を活かし、 事業領域の拡大へ

代表取締役会長兼社長 グループ代表

熊谷 正寿



新たな成長に向けた事業展開が着実に進展

当第3四半期累計期間の連結業績は、インターネットインフラ事業の順調な拡大が牽引し、売上高の過去最高を更新する増収を果たしました。一方、利益面では、第1四半期におけるインターネット金融事業の弱含みの影響や、ブランディングに伴う一時的な販促費などから減益となりました。これらにより、通期業績の利益目標に対して進捗の遅れが生じていますが、最終利益については、第4四半期において税負担の改善を見込んでいます。





サービス開始から1年を迎えた新gTLD「.shop」は、契約件数が当第3四半期において33万件に達し、更新母数を着実に拡大しています。金融・決済領域では、あおぞら銀行グループとの協業による次世代インターネット銀行が2018年7月の開業を決定しました。海外市場では、2017年11月よりタイ王国で「Z.com」ブランドによるインターネット証券取引サービスの提供を開始しました。一方、モバイルエンターテインメント事業は、中核会社3社を2017年12月に当社へ吸収合併し、ゲーム開発に集中するための体制整備を図ります。

そして2018年度からは、仮想通貨の健全な運用を支える「仮想通貨マイニング事業」に参入し、さらなる成長に向けてグループの技術力を活かした取り組みを進めて参ります。

連結業績ダイジェスト (2017年7月1日▶2017年9月30日)

▼第3四半期決算のポイント

売上高・利益ともに前年同期比で増加

当第3四半期	通期予想
売上高	売上高
 38,068 百万円 (前年同四半期比 14.7%増)	 145,000 百万円 (前期比 7.4%増)
営業利益	営業利益
 4,492 百万円 (前年同四半期比 4.7%増)	 19,000 百万円 (前期比 11.7%増)

▼セグメント別の概況(単位百万円、カッコ内は前年同四半期比増減率)

インターネットインフラ事業	インターネット広告・メディア事業
売上高 21,080 (27.5%増)	売上高 10,715 (3.8%減)
営業利益 2,023 (3.1%増)	営業利益 286 (31.5%減)

当四半期のポイント

- 売上高は決済・アクセスが牽引し、対前年27.5%増の210億円
- 「minne」への積極投資を継続しつつ、営業利益3.1%増を確保

当四半期のポイント

- ネット広告代理における受注減やメディア商材の低調を受け減収減益
- 自社アドテク商材が伸長

インターネット金融事業	モバイルエンターテインメント事業
売上高 6,847 (13.4%増)	売上高 204 (56.8%減)
営業利益 2,102 (6.4%増)	営業利益 △110 (—)

当四半期のポイント

- FX取引高が減少したものの、収益率改善策が奏功し増収増益
- 仮想通貨関連事業を本格始動、順調ながら投資フェーズを継続

当四半期のポイント

- 既存タイトルが配信開始から経年し、新作リリースがなく減収
- 今後は組織再編を実施し、コストコントロールをより徹底

クローズアップサマリー

▼通期業績予想に対する進捗

売上高は順調に拡大、利益進捗に遅れあるも
最終利益は第4四半期に改善の見込み

(億円)	通期 業績予想	2017 1-9月	進捗率
売上高	1,450	1,124.0	77.5%
営業利益	190	119.8	63.1%
経常利益	185	117.6	63.6%
最終利益	80	37.8	47.3%

▼新銀行の開業時期と社名を決定

「GMOあおぞらネット銀行」が来年7月開業

当社グループは、あおぞら銀行グループとの協業により、革新的な技術やノウハウを活用した次世代型インターネット銀行を立ち上げるべく、2016年7月から準備を進めてきました。

このたび、当銀行事業の主体となるあおぞら信託銀行株式会社は、2018年6月に「GMOあおぞらネット銀行株式会社」へ社名変更することを決定し、あわせて銀行の開業予定を同年7月に決定しました。

当社グループが持つシステムの自社開発力と個人・法人の顧客基盤に、あおぞら銀行グループが培ってきた銀行業の運営ノウハウを組み合わせ、金融とITの融合によるNo.1テクノロジーバンクを実現し、利便性の高いサービスをお客様に提供します。

GMOあおぞらネット銀行

すべてはお客様のために。
No.1テクノロジーバンクを目指して

社名変更 2018年6月予定

開業時期 2018年7月予定

仮想通貨関連事業

GMOコイン 口座数・取引高が急拡大

2017年5月からサービスを開始した仮想通貨関連事業「GMOコイン」は、口座数および取引高、顧客数の預り資産とも順調に増加しています。同年9月には、仮想通貨交換業者として金融庁より登録されました。「GMOコイン」は現在、ビットコイン以外の仮想通貨の取扱いの拡充、ならびにレバレッジ取引の提供を予定しています。

取扱通貨の拡充



新たに仮想通貨マイニング事業を開始

GMOインターネットグループは、インターネットの情報量を増やすべく、1995年の創業以来ネットインフラサービスを中心に事業を展開し、産業の発展に貢献してまいりました。昨今、新たな「価値」として注目を集めているビットコインをはじめとする仮想通貨の分野においても、私たちがこれまで培ってきたネットインフラ、ネット金融事業のノウハウに加え、「次世代型7nm^{*}」の半導体チップを活用した「仮想通貨の採掘(ビットコインマイニング)事業」に参入いたします。

今後、仮想通貨が発展・普及していくためには、通貨としての信頼性の担保が重要となりますが、ビットコインはネットワークの参加者が相互監視することで信頼性を担保するシステムで運用されており、この運用には「マイニング」という作業が必要となります。

次世代マイニングセンターの運営(2018年上半期～)

仮想通貨(ビットコイン)のマイニング事業を行うためには、高度かつ膨大な計算処理が可能なコンピューターを安定稼働させる施設が必要です。半導体設計技術を持つパートナー企業とともに、最先端の7nmプロセス技術による半導体チップを活用し、再生可能エネルギーの豊富な北欧に「次世代マイニングセンター」を運営し、本事業を開始します。

今後の展開(時期未定)

今後は、個人や事業者の方が手軽にマイニングに参入していただける「クラウドマイニング事業」、マイニングチップを搭載した「マイニングボードの一部外部への販売」を検討しております。今後も当社グループの仮想通貨領域への取り組みにご期待ください。

* nm…ナノメートル。10億分の1メートル。100万分の1ミリ。

株主様向けインフォメーション

1 四半期配当

四半期配当: 期初方針に基づき6円の配当

(単位: 円)	1Q	2Q	3Q	4Q	配当総額
2017年 (実績)	5	6	6	—	17
2017年 (計画)	5	6	6	6	23

2 株主優待

6、12月末日において1単元以上所有の株主様に対し、株主優待関連書類を郵送にて送付しています(郵送の目安: 6月末→9月下旬/12月末→3月中旬)。下記1~4の内容すべてを併用いただくと**12,000円相当**と大変お得な内容になっております。

- 1 おトクなクーポンサイトGMOくまポンギフト券(合計2,000円相当分)
- 2 GMOクリック証券におけるGMOインターネット株式買付に係る買付手数料
- 3 GMOクリック証券における売買手数料
- 4 GMOインターネットグループがご提供する各種サービスのご利用料

1 ~ 4 すべて利用可能

※株主優待の申請手続きやより詳しい情報につきましては専用ホームページをご確認ください。▶ <https://yutai.gmo.jp/>

3 お問い合わせ先

● 株主優待はこちら(GMOインターネット株式会社 株主優待事務局)

専用ホームページ <https://yutai.gmo.jp/>

お問い合わせ先 03-3461-2222

(受付時間: 土日祝祭日及び会社休業日を除く平日10:00~18:00)

● 株式事務手続きはこちら(三菱UFJ信託銀行株式会社)

0120-232-711(東京) 0120-094-777(大阪)

● 上記電話番号がご利用できない場合

042-204-0303(通話料有料)

(受付時間: 土日祝祭日等を除く平日9:00~17:00)